

2021年秋季の堅果類等の豊凶とツキノワグマの出没予測（令和3年10月18日）

島根県中山間地域研究センター

1. 出沒、捕獲および被害発生状況

今年度上半期のツキノワグマの出没件数は、例年と比較して少なかった。捕獲数も過去5年間で最も少なかったが、イノシシ捕獲用わなへの錯誤捕獲は88%を占めた（図1）。

また、有害捕獲は、5月1頭、6月1頭、7月2頭、8月2頭および9月に3頭あった。浜田管内ではナシやビワに、県央管内で養蜂に、益田管内では牛舎や民家近くに出没したことによる捕獲であった。

なお、10月3日夕方には、益田市久々茂町地内において、クマによる人身被害が発生した。

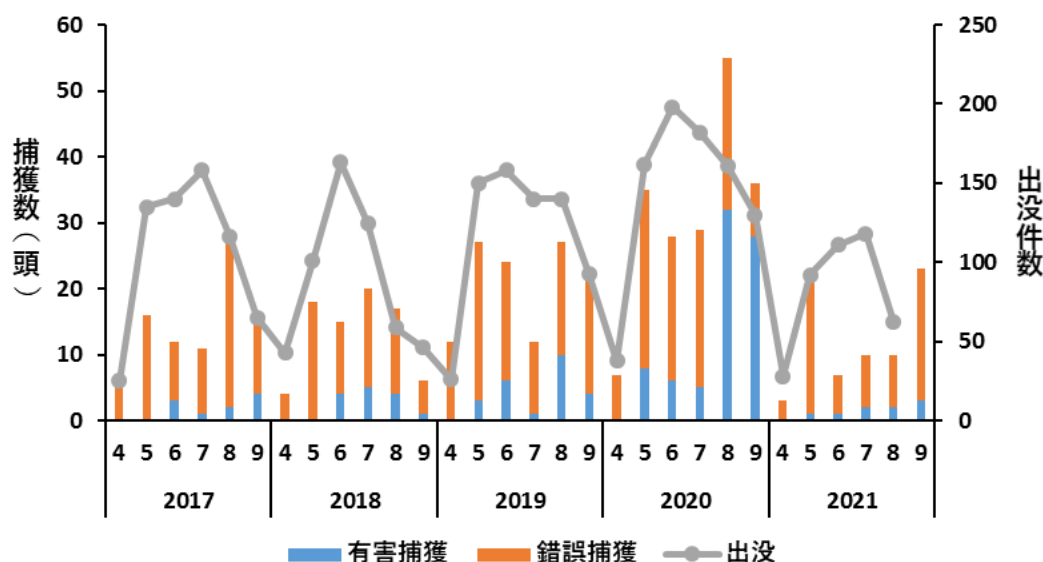


図1 過去5年間の4～9月のツキノワグマの出没件数と捕獲数

2. 堅果類等の豊凶の状況

9月上旬から中旬に県内で実施した目視調査による堅果類等の結実の評価は、表1のとおりであった。

表1 堅果類等の豊凶状況

	コナラ	シバグリ	ブナ	ミズナラ	クマノミズキ
東部地域	豊作	豊作	豊作	凶作	豊作
西部地域	豊作	豊作	凶作	凶作	豊作

3. 今後の出沒予測

今年の秋季はコナラなどが豊作で、堅果類が多く実ることが予想されることから、昨年の秋季と比較して、人里への出沒や農作物などの被害発生が増加しないと予測する。ただし、既に人身被害が発生していることや、奥山で十分に採食できなかったクマが人里付近に出沒する可能性もあるため、引き続き、クマの出沒には注意が必要である。

4. クマの被害に遭わないために

人家周辺では、生ごみや収穫しないカキやクリなどの果樹を放置せず、クマの誘因物を適切に除去して、クマを人家周辺や農地に引き寄せないことが重要である。

また、早朝や夕方などのクマが行動する時間帯は、単独での行動を避けるとともに、クマに自分の存在を知らせるために、クマ鈴やラジオなどの音を出して行動するなど、クマに遭遇しないように注意する。

※詳しくは、県ホームページをご覧ください

https://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/choujyu_taisaku/kuma_higaitaisaku.html